

メットライフ生命保険株式会社 長崎サイト

- 【代表者】 取締役 執行役 専務 チーフヒューマンリソースズオフィサー
クローデット・バイヤース
- 【事業内容】 生命保険業
- 【所在地】 長崎県長崎市常盤町 1-1 メットライフ生命長崎ビル
- 【TEL】 0120-314-303
- 【MAIL】 saiyo-nagasaki@metlife.co.jp
- 【従業員数】 962名(男性 170名 女性 792名)
- 【平均年齢】 38歳
- 【平均勤続年数】 7.8年(2018/4/1 現在 長崎サイト平均)
- 【ホームページ】 <http://www.metlife.co.jp/>



■会社の特色■

日本初の外資系生命保険会社として1973年に営業を開始し、お客さまに常に寄り添い、最適な保障を選ぶお手伝いをし続けることに努めています。長崎サイトはメットライフ生命の本社機能の一部を担う主要拠点。
「長崎から」、日本全国のお客さまや社員を支援しています。

会社の取組

『私たちはお客さまから最も選ばれる生命保険会社になります』というビジョン、『人生の「もっと」をかなえる応援をします』というミッションのもと、2002年の長崎進出・2003年の本社業務移管・2006年の長崎ビル設立以降、約1,000名の社員が勤務する主要拠点です。当社は、お客さまにより良いサービスをお届けするため、社員が安心して働き続けることができる環境づくりを大切にしています。

■多様な働き方の促進、ワークライフバランスの実現

- ・それぞれのライフステージに合わせた多様な働き方実現のためのサポート
- ・メリハリをつけて働くため、様々な取り組みの導入・実施
(例) ノー残業デー、金曜午後は「ノー・ミーティング」、ジーンズフライデー、在宅勤務、スニーカープロジェクト、育児支援、介護支援 他

■継続的に働き、キャリアを形成できる環境整備

目標をシステム管理。上司と定期的に面談を実施しながら達成に向けて取り組み、成果とプロセスの両面で評価することにより、社員のスキル向上やモチベーション向上、人材育成に努めている。社内公募制度あり。

■より良い職場環境づくりを目指した取り組み

- ・JWBN(Japan Women's Business Network)による活動
- ・Wellness: カラダとココロの健康維持を目的とした各種イベントの開催
- ・OHAT(Organizational Health Action Team)による活動
- ・産業医室やEAP(従業員支援プログラム)による各種相談対応

取組の成果

■多様な働き方の促進、ワークライフバランスの実現

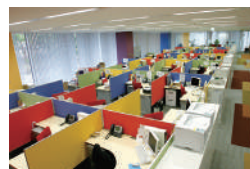
- ・年次有給休暇取得率: 80%(2017/12末時点、特別連続休暇は除く)
- ・育休からの復職率: 93.8%(2015/4/1~2018/3/31)
- ・産休・育休中の社員数: 34名(2018/4/1時点)
- ・企業内託児所あり(2006年の長崎ビル設立と同時に開園)
- ・育児/介護休業、時短/時差勤務等、各種制度完備。利用実績多数。

■継続的に働き、キャリアを形成できる環境整備

- ・30歳未満の若年者離職率 10.01%(2015/4/1~2018/3/31平均)
- ・地元(長崎)採用社員の管理職人数(アシスタントマネージャー以上)
43名(2018/4/1時点)⇔24名(2015/4/1時点)
- ・女性管理職の人数(全国転勤型の社員含む)
26名(2018/4/1時点)⇔14名(2015/4/1時点)

■より良い職場環境づくりを目指した取り組み

- ・産業医、保健師、EAPサービスでは自身の健康はもちろんのこと、育児や介護など、プライベートの相談にも応じており、社員からも好評。
- ・各種イベントを通して社員同士が部門を越えたコミュニケーションをとることができ、風通しのよい社風醸成につながっている。



社員の声

長崎に居ながらにして全国規模の仕事ができることや、家庭や育児との両立を実現できる職場であることを日々実感しています。私自身も社屋の託児所を利用し、安心して働くことができました。また、会社全体でもオープンな環境を目指し、男女問わずライフスタイルに合わせながら長く働くことができる会社だと思います。(2003年入社)



当社では役職ではなく気軽に「〇〇さん」と呼び合う環境があり、自身の意見・考えを伝えることができる「風通しのよさ」に繋がっていると思います。そんな社風の中「生まれ育った長崎で様々なことにチャレンジし、自分自身はもちろん周りのメンバーとともに成長できること」に喜びを感じます。(2010年入社)



地元企業、よき企業市民として、社会貢献活動に注力しています。親子が無料で利用できるシビックホールは、NPO法人と当社が協働で運営しており、キッズスペースとしてだけでなく、子育て中のお父さん・お母さんが子育ての悩みを話し合ったり情報交換したりと、コミュニティースペースとしても大いに活用されています。(2008年入社)

